

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	小畑拓也	所 属	芸術文化学部日本文学科
学 位	博士（文学）	職 位	准教授
専門分野	アメリカ文学・比較文学・メディア論		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	欧米文学概論、欧米文学講義、比較文学、文芸創作入門Ⅰ、エディトリアルデザイン、欧米文学専門演習 a、欧米文学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）		
大学院	日本文学・言語文化総論（オムニバス）、米文学特論、研究指導		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>（1）「「ウォルドウ」というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実とサイボーグ——」『英米文学の可能性——玉井暲教授退職記念論文集——』（英宝社、2010年3月） 747-758頁〈論文〉</p>			
<p>（2）「見えないロボット——ハインラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』（早川書房、2011年2月） 217-223頁〈その他〉</p>			
<p>（3）『マクルーハンとヴァーチャル世界』（岩波書店、2005年4月） 〈翻訳〉</p>			
<p>（4）「タイムマシンとサイボーグ——自己統御幻想とアメリカSF」『尾道大学芸術文化学部紀要3号』（2004年3月） 63-72頁〈論文〉</p>			

<p>(5) 「箱庭の窓—並行宇宙の「現実」と「虚構」—」『ドラマティック・アメリカ』（英宝社、2002年10月）107-119頁〈論文〉</p>	
<p>本年度を含む過去5年間の研究業績</p>	
<p>(1) 「「ウォルドウ」というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実とサイボーグ——」『英米文学の可能性——玉井暲教授退職記念論文集——』（英宝社、2010年3月）747-758頁〈論文〉</p>	
<p>(2) 「上書きされる世界／生み出される異界：ネットワーク、拡張現実、サイエンスフィクション」（第14回尾道大学情報科学研究会、2010年12月20日）〈学会発表〉</p>	
<p>(3) 「尾道をめぐる/物語——地図、パランプセスト、聖地巡礼」（尾道学講座、2011年10月26日）〈口頭発表〉</p>	
<p>(4) 「見えないロボット——ハインラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』（早川書房、2011年2月）217-223頁〈その他〉</p>	
<p>(5) 『英語で発信する日本文学』（2011年2月）、執筆分担〈その他〉</p>	
<p>現在の研究テーマ（3つまで）</p>	
<p>(1) テクノロジーによって揺れる人間観を中心に据えたSF読解</p>	
<p>(2) テクノロジー、メディア、文学の交点</p>	
<p>(3) 娯楽性を中心に考える「文学」の境界線</p>	
<p>研究テーマの進捗状況</p>	<p>SFジャンルと密接に関連するユートピアに関する書籍の翻訳が進行中。当該書籍の多分野に渡る内容を自分自身の研究テーマを整理しなおす手がかりとして、テクノロジー、メディア、ポリティクスの問題をユートピア的観点から捉え直す研究を進めている。</p>
<p>学会、所属団体における活動</p>	
<p>所属学会・所属団体 役職等</p>	

日本英文学会、日本アメリカ文学会、阪大英文学会、尾道大学日本文学会

Ⅲ 社会活動

学外活動

(1) 尾道学講座（「『かみのらぼ』について」：美術学科高岡陽准教授と共同で2回）

(2) コンピュータ公開講座（「電子書籍の楽しみ方」）

(3) 出前授業（学問分野解説「文学」：岡山県立岡山大安寺高等学校）